

平成29年9月1日

横浜市立浦舟特別支援学校

連携支援部

第2号



## 連携支援だより

この夏は雨が多く、梅雨が戻ったのではないかというどんよりとした日が多い8月でした。長い夏休みも終わり、子どもたちは生活のリズムを戻し、学校生活に慣れてきた頃でしょうか。お子さんたちの様子はいかがでしょうか。

浦舟特別支援学校は横浜市立で唯一の病弱教育を行う特別支援学校です。浦舟特別支援学校を市内の先生方に知っていただく手がかかりとなるような情報を、連携支援だよりを通じてお届けしています。

さて、本校では今年も夏季休業中の7月28日（金）に第1回特別支援教育総合センター教職員研修を行いました。

今年も横浜市立大学附属市民総合医療センターの精神医療センター部長 高橋雄一氏をお招きし、「小・中学生にみられる行動上の問題と医療との連携」をテーマに、ご講演いただきました。今回はご講演いただいたお話から少し内容を紹介させていただきます。

### 【講演内容について】

市大センター病院のHP、心の診療マップのHPの紹介

\*横浜市立大学 児童精神科HP（親子のこころのとまり木）

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ycucap/>

\*子どもの心の診療機関のマップ

<http://kokoro.ncchd.go.jp//kyotenmap.html>

外来患者さんの多くは神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害が多く、外来患者さんのうち約30%を占めているといった統計的なお話がありました。そして事例を何件かあげながら疾患についての特性や対応についてのヒントをいただきました。

○うつ病・・・基本的に大人と同じ、抑うつ気分・意欲低下を主症状とする。子どもはやや非定型的で、イライラ・衝動性が強くなったり、過食・仮眠・恣意的生活（ゲーム三昧）など大人からみて“怠け”と思われることもある。

家族、学校、子どもといったそれぞれの立場から困り感を整理し、子どもの困り感を特定し共有しともに解決をしていくことが大切である。

家族、学校の困り感では目につきやすいものが主になるが、子どもの困り感が水面下にありその理由に働きかけることが大事である。（精神医学的要因、心理的要因、生来的要因、環境要因）

○ADHDとASDの鑑別・・・発達障害の診断は重複することがある。

個性の基盤があり、そこに発達早期の環境因・社会的環境因・直前の契機を経て症状が現れる。（頻回に癇癢を起す）

## ○自殺について

- ・小中学生の自殺の原因及び動機は、学校問題、家庭問題、健康問題、男女問題の順である。
- ・子どもの自殺は減少していない
- ・自殺の危険因子；過去の自殺未遂、自傷行為・精神疾患・喪失体験、身体疾患、身体障害、不定愁訴、心理的孤立、自己傾性、セルフケアの乱れ
- ・自殺直前のサイン；自殺のほのめかし、アルコールや薬物の乱用、自殺計画の具体化、自傷行為、重要な人の最近の自殺、最近の喪失体験、別れの用意、家出

## ○相談従事者に求められる態度

- ・受容と共感 ・静かで穏やかな対応、傾聴 ・来談したこと、話をしてくれたことをねぎらう
- ・支援を表明し、約束する ・いかなる状況も真剣に捉え、対応する ・批判しない、叱責しない 説教しない ・安易な励ましや安請け合いをしない ・説明や提案は明確に行う

## ○学校に適應できない子への支援

- ・問題は子どもの特性と周囲の環境にミスマッチであることを理解する。  
子どもの問題を指摘する前に、子どもの「願い」や「強み」を一緒に探す。
- ・子どもの「困っていること」を子どもの言葉で聞き取る。
- ・一緒に解決策を考える。



申し込み多数のため早くに定員に達してしまいました。参加できなかった先生方、来年度は多くの方が参加できますよう南公会堂で平成30年7月27日（金）に開催を予定しております。



## <研修会の予定>

今年度はあと2回、特総センター教職員研修を本校にて予定しております。

\*第2回 「学校と医療の連携」 学校と医療の連携の在り方を事例を通して考える

日時：11月24日（金） 15：30～16：45

講師：横浜市立市民病院 心理療法士 土屋真弓氏

\*第3回 「病弱教育と人権」 病弱教育の全国的な流れと本校の取り組み

日時：2月2日（金） 15：30～16：45

講師：横浜市立浦舟特別支援学校 校長 長岡利保

後日詳しくご案内させていただきます。YCAN 研修受講システムでのお申込みです。

病気等が理由で、欠席が長く続いているお子さんや登校が難しいお子さん、市内の病院に入院しているお子さん、病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受付けています。

学校からだけでなく保護者からの教育相談も受付けています。  
そのような場合はぜひ、保護者にご紹介ください。



担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 Tel.243-2624